



# あ ら ー む

## 第20号

発行 障害者支援施設

新 生 園

〒028-2365

岩手県紫波郡矢巾町室岡

11-125

TEL 019-697-6831

FAX 019-697-8248

### 「変革」の始まり



新生園施設長

小野寺 仁子

新年を迎え、松の内もたけなわのころ、「高齢者を七十五歳以上とし、六十五歳から七十四歳までを准高齢者と呼ぶ」という日本老年学会の提言発表がありました。

現在六十五歳以上と定義されている「高齢者」を七十五歳以上に見直すとの提言で、医療の進展や生活環境の改善により、十年前に比較し身体の働きや知的能力が五〜十歳は若返っているとの判断によるものであるとのこと。六十五歳以上の人々を社会の支え手ととらえなおすが、明るく活気ある高齢化社会につながるという解釈であろう。

今まさに平均寿命、高齢者数、高齢化のスピードともに世界一の超高齢化社会を前進している日本では、前期高齢者も後期高齢者も皆で未来を支えていかなければならない時代となってきました。一億総活躍は、まさに最後まで元気で働こうということになります。

新生園の高齢化対応業務改善活動の中で「終活」という言葉を聞いたのは三年前のこと、いまや、老前整理であり、断捨離も世の中の流れとなってきました。利用者とともに学ぶことの多い昨今、「昨日までの常識は、今日の非常識」と呼ばれるごとく流れは速い。まさに「変化」は日進月歩です。その中で、物心ともに真に必要なものを選択する力を求められていると痛感しています。



# 作業場の様子

## 印刷科



『室岡地区の印刷屋さん』

印刷全般、カラー印刷、年賀状印刷など、印刷に関するご注文を賜っております。

ここ数年、地域の小中学校からは、毎年文集等の印刷依頼があります。卒業文集の季節になると注文数も多くなり、印刷

科所属の利用者さんやスタッフは気合が入ります。

頂いた原稿文章を入力し、思い出溢れる文集が出来上がるよう、丁寧な仕事を心掛けています。

デジタル化が進み、SNSでのつながりやペーパーレスの現代において印刷物特有の、『紙から伝わる味わい』を今後も発信していきたいと思えます。

皆様からのご注文を心よりお待ちしております。

新生園の作業には、就労継続支援（B型）として、洗濯科と印刷科があります。今回はその洗濯科と印刷科の作業場の様子をご案内します。

作業には、洗濯科8名、印刷科8名（平成28年12月31日現在）の利用者さんがあっております。それぞれ、持ち場や作業内容に違いはありますが、みな一生懸命に取り組んでいます。また、リフレッシュのための年に数回余暇行事を行っています。

作業時間は、午前9時から夕方の4時までで、10時と12時、3時に休憩時間があります。

◆「各種印刷」、「クリーニング」ご相談承ります。  
お気軽にご連絡ください。

## 洗濯科



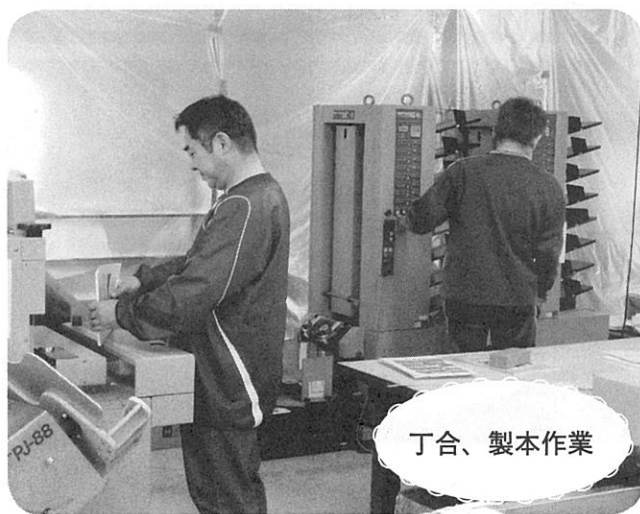
『山へ芝刈りの次は、洗濯科へ』

一般クリーニング、布団丸洗い、絨毯などクリーニングに関するご注文を賜っております。地域食品工場のユニフォームや病院のシーツ、制服等、洗濯科所属の利用者さんとスタッフで取り扱っております。

業務用アイロンや業務用洗濯機が数台あり、作業場内は常に蒸気と熱気で溢れています。夏場には、室温40度以上になることも!! 日々体力勝負ではありますが、ご注文頂いた品が綺麗に仕上がった時には、大きな達成感があります。

大切な衣装と長く付き合いたい、寝具類の清潔を保ちたいなど、衣食住の大切さは今も昔も変わりません。日本昔話によれば、川で洗濯していたところに、たいそう立派な果物も流れついており、かの有名な鬼島鬼左衛門を退治する勇者も生まれております。

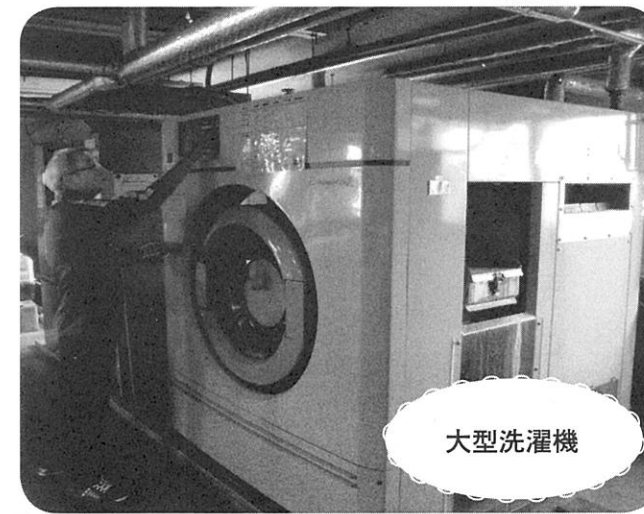
勇者のように親切丁寧を心掛けた洗濯を今後も行っていきます。皆様からのご注文を心よりお待ちしております。



丁合、製本作業



パソコンによる編集作業



大型洗濯機



シーツロール掛け



作業場の風景



印刷物あれこれ



大量の洗濯物



プレス作業



# 矢 巾 町 防 災 訓 練



平成 28 年 1 月 13 日 (日) に「平成 28 年度 矢巾町総合防災訓練」が行われました。  
震度 6 の地震が発生したと想定し、不動地区の避難所「矢巾町農村環境改善センター」に移動し、避難所の様子、炊き出し、救急救護等訓練を体験しました。

13 時 40 分に室岡地区自主防災会、矢巾町消防団が同行し避難所に向かい、対策本部に新生会の避難者数等を施設長が報告しました。

避難場所のホール内では、避難所を再現し、プライバシーが保護されたパーティションや災害時に必要と思われる衛星通信システムなどの展示が行われました。炊き出し訓練ではカレーライスの提供があり、水を使って皿を洗えない想定で、食器にラップを掛けてから盛り付ける工夫がされていました。そのほか、煙が充満した煙室内や東北電力による高所作業車などの体験も行われました。

昨年の県内では、台風 10 号による被害が甚大であり、避難所の役割が身近に感じられました。また、障害者支援施設として、定期的に避難訓練を実施する等、日頃から天災に対する備えが大切であると考えています。



避難場所の  
矢巾町農村環境改善センター ①



避難の様子



避難場所の  
矢巾町農村環境改善センター ②



炊き出しの食器に  
ラップを敷いた

## ～ 編集後記 ～

年が明けて、あっという間に 2 月になります。2 月といえば、節分。節分は季節を分けるという言葉もあるそうで、2 月 4 日は立春、暦の上では春がやってきます。そんな季節の変わり目に、邪気を払って無病息災を願う豆まきですが、最近では恵方巻きを食べるなんていう習慣もありますね。なにせよ、また 1 年元気に過ごしたいとの思いは今も昔も変わりありません。皆様にも、良い 1 年でありますように。

暖かくして早寝を心がけましょう。

まだまだ寒い日が続きますので、体調管理にお気をつけください。冷えは大敵！暖かい物を食べ、暖かくして早寝を心がけましょう。



避難所の簡易テント